

平成26年度第1回秋田市中心市街地活性化協議会開催結果

平成26年6月24日（火）15時00分から、秋田商工会議所ホール80において、秋田市中心市街地活性化協議会を開催しましたので、その議事内容について公表します。

（議事内容）

- 場 所 秋田商工会議所 7階 ホール80

- 出席者 委員：13名 オブザーバー：10名（随行者：5名） 計28名

- 協 議
 - （1）平成25年度事業報告・収支決算について（監査報告）
 - （2）平成26年度事業計画(案)・収支予算(案)について
 - （3）秋田市中心市街地活性化基本計画の検証結果について
 - （4）商店街まちづくり事業の調査事業の申請について

- 報 告
 - （1）まちなかプロジェクトチームの今年度実施事業
 - （2）自転車利用検討会及び中心市街地循環バス検討会の事業実施状況
 - （3）「なかいちプラザ」の現況及び今後の予定
 - （4）第2期中活計画策定へ向けた事業者等の考え方
 - （5）中心市街地商店街会長会議の提案
 - （6）国民文化祭の秋田市中心市街地関係事業

○ 結果報告

【三浦廣巳会長の開会挨拶】

本日はご多忙のところご出席を賜り、御礼申し上げます。これまで取り組んできた中心市街地活性化基本計画が今月をもって終了します。この基本計画には、46の掲載事業がありましたが、中核である「エリアなかいち」の整備事業をはじめ、そのほとんどが順調に実施されました。本日は、この基本計画の成果について、秋田市が実施していた検証作業の結果が報告されますが、当協議会としてもその成果についての意見を提出する必要があります。中心市街地活性化はいまだ道半ばであり、まだまだ取り組まなければならない課題もありますが、計画された事業については一定の成果は得られたと考えておりますので、後ほどご協議をお願いしたいと存じます。

また、これまでの中心市街地を振り返ると、いつもどこかに未利用地が残され、常に開発と撤退が繰り返されてまいりました。まさに、まちづくりに終わりはありません。今回も基本計画は終了いたしますが、まちづくりは継続いたしますし、次のマスタープランが必要であることは言うまでもありません。当協議会では、昨年10月に第2期基本計画の策定を秋田市に要望し、その後、商業関係者の皆様と今後の事業について意見交換を重ねてまいりました。様々なご意向を伺いましたので、このあとご報告させていただきますが、現状では中核となる開発計画が定まっていないこと

から、今すぐの2期計画申請は難しい状況です。しかしながら、意欲的な構想をお持ちの事業者もいらっしゃいますので、そういう所は官民一体で計画づくりを支援し、中核となる事業計画に押し上げてまいりたいと存じますので、皆様からもご協力をお願いいたしますとともに、秋田市には今後とも2期計画策定へ向けたプラン作りに共同で取り組んでいただくようお願い申し上げます。

本日は、このほか、平成25年度事業報告、収支決算および平成26年度事業計画案、収支予算案などについてご協議賜りますが、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。また、エリアなかいちの商業棟は報道のとおりですが、皆様の知恵を結集して、1日も早く再スタートを切ることができるよう努めてまいりたいと考えておりますので、ご指導・ご協力をお願い申し上げ、開会のご挨拶といたします。

【内容】

協議に入り、協議（1）「平成25年度事業報告・収支決算」について事務局から説明後、佐々木監事より監査報告があり、原案通り了承された。協議（2）「平成26年度事業計画(案)・収支予算(案)」について、報告（1）「まちなかプロジェクトチームの今年度事業実施」、報告（2）「自転車利用検討会及び中心市街地循環バス検討会の事業実施状況」の2点については関連があるため事務局が一括して説明後、秋田市企画調整課内藤副理事からまちなかプロジェクトチームについての補足説明があり、原案通り了承された。協議（3）「秋田市中心市街地活性化基本計画（：以下基本計画）の検証結果」について、報告（3）「『なかいちプラザ』の現況及び今後の予定」も関連があるため、秋田市都市総務課高橋課長、榎岡副参事の双方から一括して説明され、その後、事務局から参考（1）の「第1期基本計画の最終フォローアップに関する報告(案)」について協議し、「若干の活性化が図られた」との意見決議が承認され、今後内閣府へ提出される予定となった。協議（4）「商店街まちづくり事業の調査事業の申請」については、報告（4）「第2期基本計画策定へ向けた事業者等の考え方」も関連があるため事務局から一括して説明し、第2期基本計画策定の際に、中核事業となり得る「旧なかよしビル建替事業」、「大町魁跡地活用構想」の2件について、商店街まちづくり事業の調査事業への申請を行うことで了承された。

続いて報告に入り、報告（5）「中心市街地商店街会長会議」の提案について広小路商店街振興組合佐々木理事長より、報告（6）「国民文化祭の秋田市中心市街地関係事業」について秋田県観光文化スポーツ部国民文化祭推進局恵比原副局長から説明があった。

会議では、次のような質問や意見が出された。

○協議（2）について

秋田市企画財政部企画調整課 内藤副理事

イベント等に頼らない街中のソフト的な事業によって、経常的な賑わいを創出したいということで、話し合いが行われている。今年度は、事務局の説明にもあった通り、新たなトライアル事業として、①自転車による来街促進、②ストリートライブ推進、③中央街区の交通体系見直し調査を実施したいと考えている。本協議会との連携となるため、今後ご協力をお願いしたい。

佐々木委員（秋田市広小路商店街振興組合理事長）

「自転車による来街促進」について、レンタサイクルを推進しているとのことだが、若者から

お年寄りまで気軽に利用できるよう、手続きの簡便化や新たなステーションの設置を検討してはどうか。

秋田市企画財政部企画調整課 内藤副理事

新たなステーションについては、期間限定で試行を検討している。手続きについても、可能な限り簡便化に努めていく。

佐々木委員（NPO 法人 秋田バリアフリーネットワーク）

中央街区交差点のスクランブル化という話は前から出ていたことであるが、その後の進捗は如何か。

秋田市企画財政部企画調整課 内藤副理事

現在、秋田市、秋田商工会議所、秋田県警等にて、どうしたらスクランブル化が実現に近づいていくかを話し合っている最中である。県警からは、検討するには周辺の交差点の自動車・歩行者の交通量のデータが必要であると言われており、そのために歩行者アンケートを含めた「中央街区の交通体系見直し調査」をトライアル事業として実施予定としたものである。

佐々木委員（NPO 法人 秋田バリアフリーネットワーク）

循環バス「ぐるる」について、昨年もあった話だが、運行ルートの見直しを実施してはどうか。大町まできてもらえるだけでも、全く違うと思う。また、レンタサイクルについては、先ほども話があったが、台数が少ないのだからステーションを増設して、乗り捨て可能にすれば、循環バス運行ルート拡大、交差点のスクランブル化と合わせて相当な交通渋滞の解消に繋がっていくと考えるがいかがか。

事務局 浅野部長

循環バス「ぐるる」については、運行ルートの変更というご意見も昨年頂戴していたが、今年度は現状の中で有効活用できるものということで事業を組ませていただいた。昨年までのご意見に対しても、今年度の中で並行して検討していきたいと考えている。現状で最大限効果が発揮できる事業と、運行ルート変更等将来的な事業の両睨みで取り組んでいきたいと考えている。

また、レンタサイクルについては台数が少ないのはご指摘の通り。徐々に増やしていきたいと考えている。ステーション増設については、将来的には民間の力を借りて増やしていきたい意向であるが、行政と相談・協力をしながら、その効果を利用者に対して徐々に浸透させていきたいと考えている。

○協議（3）について

新開委員（仲小路振興会会長）

協議が終着した後で申し訳ないが、中心市街地とはどの範囲を指しているのかお伺いしたい。

秋田市都市総務課 檜岡副参事

現在設定エリアとして 119Ha の広さがある。秋田駅東側から、西は通町、南はちょうど川反通り近辺、千秋公園も含めた形で設定させていただいている。

新開委員（仲小路振興会会長）

参考（1）の資料では「今後の活性化に向けた明るい兆しも現れ始めている」との記載があるが、具体的にはどのようなことか。

秋田市都市総務課 檜岡副参事

交流人口や定住人口が増加している点から、そのように記載させていただいたものである。

新開委員（仲小路振興会会長）

同じ資料の中で、【活性化状況】について「若干の活性化が図られた」との報告（案）であったが、「各目標の達成状況」を見ると、経済効果という点で小売業年間商品販売額が目標の70%にも満たない。果たしてこの状況で「若干の改善が図られた」と言えるのだろうか。

議長（秋田商工会議所 三浦会頭）

協議については先ほど決議済みである。ご意見は参考にさせていただきながら、今後も活性化に向けて取り組んでいきたいと考えている。

○報告（3）について

秋田市都市総務課 高橋課長

「なかいちプラザ」の現況及び今後の予定について報告させていただきたい。核テナントであった(株)秋田まるごと市場の賃貸借契約解除の申出により、食品売り場の閉店および精肉店等の4店舗が撤退となった。4月3日には商業施設の名称を「サン・マルシェ」から「なかいちプラザ」と改め、営業を再開したものの、その後新たに鮮魚店等の3店舗の撤退が明らかとなり、今後の運営に危機感を持った秋田まちづくり(株)の前社長から市に対し、テナント誘致に対する支援要請があった。市としては緊急避難的にこの要請に応じ、テナント交渉の仲介役を努めてきたものである。今後については、商業施設の所有者である秋田まちづくり(株)の新体制のもと、4分野のテナント誘致を主体的に進めていくことにより、一日も早くテナントが入居し、「なかいちプラザ」が魅力ある施設となるよう期待している。また、筆頭株主である秋田商工会議所をはじめ、県や関係者の方々とも協力しながら、中心市街地の活性化や賑わい創出につなげていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

○協議（4）について

高堂委員（秋田市大町商店街振興組合理事長）

大町商店街としては、①ニューシティ跡地の活用、②旧秋田魁新報社跡地の活用、の二つの問題を抱えている。この問題の解決に向け、当初は大町商店街だけでなんとかしようという動きであったが、最近になってもっと広い形で進んでいこうという議論になってきている。現在も協議を重ねている状況であり、一刻も早く叩き台をお示ししたいと考えているので、その際はよろしくお願ひしたい。

河村アドバイザー

大町商店街が抱える2つの問題にも係わることだが、協議（4）「商店街まちづくり事業の調査事業の申請について」補足説明と秋田市に対しての質問をさせていただく。本協議会としては①旧なかよしビル建替え事業、②大町魁跡地活用構想、の2件について商店街まちづくり事業の調査事業に申請するべくこの場にて協議させていただいている。一方では、中心市街地の活性化に係る今後のアクションプランを市と協議会と商工会議所が一体になって作成するという話が聞こえてきている。実際はどのような状況なのか。

秋田市都市総務課 高橋課長

いわゆる行動計画、アクションプランについては、各機関のお力添えをいただけるものであれば、今年度中にも作成したいと考えている。

新開委員（仲小路振興会会長）

「旧なかよしビル建替え事業」について本協議会が商店街まちづくり事業の調査事業に申請することのだが、民間事業者の建物が老朽化したことによる申請をなぜ本協議会が担わなければいけないのか。教えてほしい。

河村アドバイザー

理由は3つある。1つ目は、フォーラスは秋田駅前に存在しており、駅前を象徴する建物である。地元資本の方が所有しており、地元を大切にするといった観点から取り組むものである。2つ目は、まだ駅前にも未開発の部分があり、1つ開発することにより、周りの開発も誘発する効果があるのではないかという考え方で取り組むものである。3つ目は、秋田らしさの演出である。材料に木を使用することも検討しており、景観の一体化を図る先天的な事業にしたいと考えている。以上の理由から民間事業者の建物ではあるものの、協議会として活性化に繋がるものと判断し取り組むものである。

○報告（5）について

佐々木委員（秋田市広小路商店街振興組合理事長）

前回の話から「エリアなかいち」の中通1丁目地区再開発事業の問題が巨大すぎて、この第1期基本計画の基本方針というか基本コンセプトの設定が、現実の流れを追うために軽くなってしまっていないかという危機感がある。次回はそこをもう一度整理して、様々な事業をやりやすくする必要があるのでないかと感じているところである。実際には、経済指標など実在するものに基づき、活性化のためにどんな手段があるのか。それぞれ商店街が個別に取り組んでいく手段もあると思うが、そうではなくもっと集約された、官民一体となったまちづくりの手段とは何か、そのようなことを問題提起させていただいた資料である。従前から広小路商店街振興組合理事長として様々な事業に携わってきたが、成功した事業は、基本コンセプトや手段が明確であった。しかし、中心市街地活性化基本計画については、コンセプト、戦う武器となる手段、ともに現状では方向性がはっきりしていないように感じる。このままでは合理性の低い、場当たりの結果になってしまう可能性が高いことに対する危機感を感じる。私としては今こそフィロソフィの部分を再度検討させていただいて、数字的根拠もある、手段も明確な基本構成となるべきだと考えている。改めて秋田市内も含め本協議会に対して、これらを我々に明示した上で、ともに前に進んで行けるよう今後計画内容の検討をお願いしたい。

秋田商工会議所 柴田専務理事

了解した。事業者の貴重なご意見ということで参考にさせていただきたい。計画のフォローアップ、もしくはこのまま進んで行くとすれば第2期の計画策定時に、いただいたご意見も反映させながら、検討を重ねていきたい。

○報告（6）について

秋田県観光文化スポーツ部国民文化推進局 恵比原副局長

国民文化祭開催まであと102日ということになった。期間中、中心市街地では様々なイベントが集中する。事業の相乗効果という観点から、多くの関連する事業者の方々との連携が不可欠であると考えているため、この場をお借りして説明をさせていただく。期間中のイベントについてはお渡しした資料の通りであるが、関係各者とは情報交換、ブラッシュアップをしていながら、成功させたいと考えているので、よろしくをお願いしたい。また、期間中最も大きなイベントとしては、「フ

ィナーイベント（閉会式）」がある。県警からのご協力もあり、広小路を通行止めにして、様々な行事を予定している。現在各担当者と打ち合わせ中であり、プレイベントも始まってくる。中心市街地の皆様には、このイベント成功のため、あらゆる方面で是非ともご理解、ご協力をいただきたく、この場を借りて要請させていただくものである。

閉 会